

## 「管内市町村社会教育・生涯学習関係職員等研修会（第1回）」事業報告

1 事業名 平成30年度 管内市町村社会教育・生涯学習関係職員等研修会（第1回）

2 期 日 平成30年6月6日（水）

3 参加者 38名

4 日 程

| 時 程              | 内 容  |
|------------------|--|
| 13:30            | 受 付  |
| 13:50            | 開会行事   |
| 14:00            | 研修1〈実践事例発表〉<br>『中津原通学合宿』から得られるもの<br>中津原通学合宿実行委員会 委員長 大場 由美 氏<br>元 香春町教育委員会教育課社会教育係 山田 裕士 氏 |
| 14:30<br>(休息10分) | 研修2〈講話・演習〉<br>「地域とともに魅力ある事業をつくるために」<br>九州大学大学院 准教授 岡 幸江 氏                                  |
| 16:40            | 閉会行事   |
| 16:50            |  |

### 5 活動の実際

研修1

#### (1) 内容

研修1では、地域のお寺で「通学合宿」を立ち上げた元教育委員である通学合宿実行委員長と、その活動の支援として関わっていた教育行政職員の方から、「中津原通学合宿」についての実践発表がありました。

実行委員長の大場氏からは、PTA役員として、教育委員として、地域の住民として子どもに接する中で課題を感じ取り、何とかしなければと様々な方に相談し、協力を得ながら「中津原通学合宿」が立ち上がっていく様子が語られました。

同時に、元香春町教育委員会の山田氏より「中津原通学合宿」の取組について、教育行政職員の視点からの話がありました。当初は仕事として関わっていたが、子どもたちや地域の方々と接するうちに、個人として積極的に関わっていくようになったことなどについて、説明されました。

#### (2) 活動写真



実践発表をする大場氏



実践発表をする山田氏

### (3) 参加者の声

○子どもたちに体験が不足していることから立ちあげられ、子どもも成長し、大人、実行委員、ボランティアも成長して、とてもあたたかい合宿なんだろうと思いました。

○8年も続けていて行政やボランティア、地域の方々のつながりの強さを感じました。

(アンケートで出された質問)

○「中津原通学合宿」の対象者は中津原小学校の児童全員であったのかどうか？

→中津原小学校の小学5年生と小学6年生の児童全員に募集チラシを配布しています。

○参加人数は平均して何人くらいなのか？

→例年10名を募集定員にしていますが12～13名の参加希望者全員を受け入れるようにしています。

※回答については、大場氏に確認をしています。

## 研修2

### (1) 内容

研修2では、まず本研修会における講話・演習の意図について講師より説明がありました。その後、ワークシートを用いて参加者自身が担当している事業について振り返りを行い、他の市町村において同じような事業を担当している方同士で、その振り返りについて協議を行いました。

次に事業を企画したり、評価したりする際のポイントについて講師から説明があり、再度協議を行いました。参加者にとっては、今行っている事業を見つめ直す良い機会となった演習でした。

### (2) 活動写真



講話を行う岡氏とそれを聞く参加者



協議を行う参加者

### (3) 参加者の声

○自分の事業を改めて考え直すよい機会になりました。

○法律、条例、住民の声、評価について、他の部署とは違う社会教育としての考え方がよく分かりました。

## 6 全体をとおして

今回の研修会は、参加者の多くが「地域学校協働活動」と「青少年教育」の担当者であり、実践事例発表のテーマが「通学合宿」ということで、興味深く聞いていました。特に地域における子どもたちが抱える課題を出発点として、地域の方が中心となって事業を立ち上げ、その結果、子どもたちの課題解決にとどまらず、地域としてつながりができていく様子が印象に残ったようでした。

講話・演習でも、参加者それぞれが担当している事業について、前年度踏襲ではなく意義や目的をはっきりさせること、場所、対象、活動内容、連携のすべてに必然性を考えることを踏まえたうえで、じっくりと振り返り考えることができました。参加者からは「今日のシートをふり返り、何の為に、誰の為にやるのか、考えていきたいと思います。」「継続してきている事業とは別に新たに事業計画をしていきたいと思いました。」という感想が聞かれ、有意義な時間となりました。